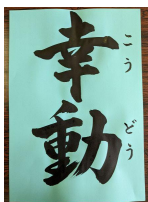


南っ子



令和7年度学校だより9月号
9月3日発行
延岡市立南小学校 No.9
文責：校長 甲斐 憲一

改築工事終了！



夏休みの引っ越しが終わり、新校舎での生活が始まりました。長いプレハブの生活でしたが、ようやく完成し、引っ越しした子どもたちはうれしそうな顔をして快適な教室で楽しそうにしていました。早速1年生は学校探検という感じで新校舎の様子を見学していました。朝の登校時もまだどこから靴箱へ行っているのかわからない1年生もいて、朝から矢津田先生は案内のカードをもって説明していました。

今まで使っていたプレハブ校舎も夏休みの期間で撤去し、駐車場のアスファルトが残るのみとなりました。これから運動場の整備にかかっていくこととなりますが、整備にも時間がかかるということで、運動会の練習がしばらくできない状況となります。そのため、今年度の運動会は競技数を減らした形となります。とても残念ですが、来年度に向けて子どもたちと一緒に新しい運動会について話し合いを進めていこうと考えています。まだまだ暑い日が続いていますが、熱中症に気を付けながら、運動会に向けての練習を頑張っていってほしいと思います。

始業式



9月1日、まだまだ気温も高いためオンラインでの始業式を行いました。まず始めに校長室で3名の子どもたちが作文発表を行いました。3人とも1学期頑張ったことやできるようになったこと、そして2学期に頑張りたいことをしっかりと話すことができました。とても立派でした。

私からは、日本男子バレーがどうして強くなったのかという話をしました。それは、海外でプレイする選手が増えたこともその理由ですが、フランス人のフィリップ・ブラン監督が指導をしたときに「はいわかりました」としか言わない選手の主体性の無さや監督主体の日本バレーに気づき、自ら考えて練習するよう指導してきたことが大きな理由です。そういう意味でも、子どもたちにも自ら考えて【幸動】する力を身に付けていってほしいと願っています。

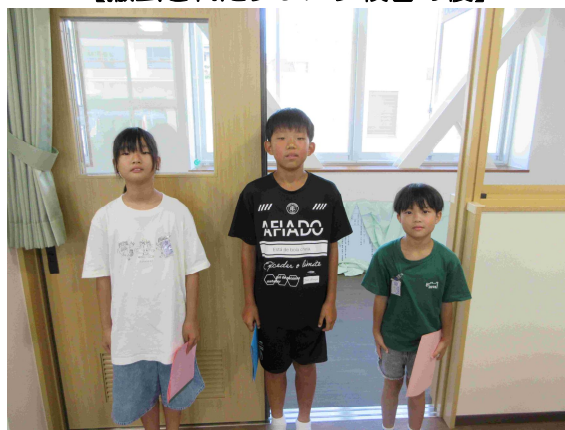
子どもたちからよく聞く言葉があります。それは「宿題終わったから終わり」という言葉です。先生から与えられる宿題さえ終わればOKという訳です。自分の目標をしっかりと持ち、その目標に向けて頑張っていくためには、自分で何をすればよいのか、宿題以外にも目を向けていき、それをやっていく必要があります。そのことが自分の将来の夢につながっていきます。そのような気持ちをもってこれから頑張っていってほしいと思います。



【改築された北校舎】



【撤去されたプレハブ校舎の後】



【作文発表した子どもたち】